

夢咲亭

～和輪話通信～

研修班 『「もしも!?」の防災お泊り会』



広報啓発班&ネット研究班 親子で学ぼう!ネット利用講座



生成AIに聞いてみた!『生成AI』って何??

近年、急激に生成AIの活用がすすんでいます。普段の生活で使う場面も増えてきましたね。
そこで、生成AIとは、何なのかを『生成AI』に聞いてみました。



生成AIって何?



人の代わりに文章や絵を作ってくれる人工知能です。
簡単に使用でき、正しく使うことで学びの手助けになります。
また、使い方次第で「自分の考えを深める力」を育てることもできますよ。



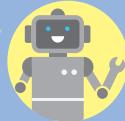
生成AIの最大の長所を3つ教えて



- ①すぐ役に立つ解説と要約
難しい言葉をやさしく言い換え、要点を短くまとめることができます。
- ②いろんなアイデアの提案
自分では思いつかないような考え方や表現を提案してくれます。
- ③学びのサポート
宿題の疑問解決や英会話の練習相手になってくれます。



生成AIを使うときに気をつけること・危険なことは?



- ①個人情報を入力しない
自分の名前や学校、住所などを入力すると、個人情報の流出につながります。
- ②情報の正誤を自分で確かめる
AIの答えをそのまま信じず、出典を確認して他の資料と比べてみましょう。
- ③著作権を守る
AIの文章をそのまま使用せずに、自分の言葉に直して必ず出典をつけましょう。
※出典(しゅってん)とは、本や新聞、インターネットなどで知ったことや引用した言葉や情報が、もともとどこから来たのかを示すものです。



生成AIへの質問のコツは?



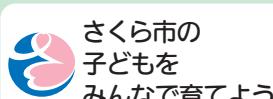
- ①質問の意図をはっきりさせる
何を知りたいかを明確に伝えてみよう。
- ②具体的な条件をつける
小学生に分かりやすく、○○字以内、箇条書きなど、細かく条件を指定しよう。
- ③出典を明記してもらう。
明記された根拠資料を必ず確認し、情報が正しいかどうか判断しよう。

まとめ

生成AIは、誰でも簡単に使える便利なツールですが、誤った使い方をすると他人の作品の権利を守る「著作権」を侵害したり、個人の重要な情報が漏れる危険性があります。

インターネットで調べた情報については、その出典元を確認し、正確性を自分自身で判断することが大切です。生成AIはあくまで「手伝ってくれる補助ツール」であるため、自分の頭で考えることを忘れないようにしましょう。

※今回の記事は生成AIの回答に基づいて作成しました。



ゆめさくら わわわうしん
夢咲楽～和輪話通信～ 第60号
発行日 令和7年12月12日

発行 さくら市青少年センター(事務局 生涯学習課)
〒329-1492 栃木県さくら市喜連川4420-1
電話 028-686-6621 FAX 028-686-5368
電子メール syogaigakusyu@city.tochigi-sakura.lg.jp
市ホームページ http://www.city.tochigi-sakura.lg.jp

■ 次号は令和8年2月下旬に発行する予定です ■